

牛久：学校周辺に見る自然

第34号 みずべ公園(ひたち野うしく小)

2016年10月22日発行

＜ 動物のすみか ～ ⑨ クモのなかま ＞

9/27, 10/4にひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回はクモのなかま。クモは虫ですが、昆虫ではありません。クモと昆虫の違いは？ 昆虫の体のつくりについてすでに学習してある3年生(以上)の皆さんは説明できますね？



おなじみのジョロウグモ。大きくはでなもようの方がめす。おすにとって交尾は命がけで、うっかりするとめすに食べられてしまう。正面から向かうのは特に危険なのだが…(右上)。 3重に巣網をはるのも特ちょう(右下)。

みずべ公園には、ジョロウグモがたくさんいます。このクモは家の庭などにもいますが、えさとなる小さな虫が豊富にいないと暮せないので、環境のバロメーターにもなるそうです。体が大きくはでなもようの方がめすで、おすは小さく地味な色をしています。小さくか弱いおすにとって、めすとの交尾は命がけ。へたに正面から向かっていこうものなら、めすに食べられてしまいます。右上の写真はまだめすが若く小さめなためか食べられることはありませんでしたが、何もできずにそのままはなれていきました。



なお、このクモはもようにも特ちょうがありますが、巣網を3重にはるのも特ちょうの一つです。

左の写真はシラカシの葉の間に網をはってかくれ、えものを待ちぶせしているのかと思いましたが、調べたらこのクモはワキグロサツマノミダマシといい夜行性で、昼間は葉の上で休んでいるのだそうです。ただし、昼にえものを捕獲するのを見たことはあります。

シラカシの葉の間にかくれるサツマノミダマシ。



黄色と黒のしまもようがめだつ、ナガコガネグモ。

ハチの腹部ふくぶを思わせるような、黄色と黒のしまもよう。こちらはナガコガネグモ。田んぼのまわりや草はらなどで、よく見かけます。危険きけんを感じると網あみを激しくゆすって威嚇はげします。いかく



たなじょう すあみ
棚状の巣網から出てきた、クサグモ。

イヌツゲの木には、あちこちに
たなじょう すあみ
棚状の巣網がはられていました。小さな茶色のクモがようすをうかがいながら出て来ては、ヒトの姿すがたに気がついて中にかくれていきます。これはクサグモ。巣の奥に卵たまごのうをつくり、その中で子グモは冬を越し、春になると出てくるそうです。クモにもいろいろなのがいますね。【理科支援員：宮内】